

平成 26 年度フードバレーとちぎ農商工ファンド助成金 交付決定案件

1 県内中小企業者等と県内農林漁業者との連携体への助成（直接助成事業）

番号	事業区分	連携体及び事業名称	事業概要	助成額 (千円)	交付 決定日
1	新商品等 開発支援 事業	(有)御前岩物産センター、(有)塩澤食品工業、露久保一夫 那珂川町産マコモタケと八溝産イノシシ肉を使った缶詰加工品の開発	那珂川町産マコモタケと八溝山イノシシ肉を組み合わせ、缶詰にする事で新しい特産品を開発する。また、とちぎハセップ工場で製造することで、商品価値のイメージを高めるとともに、栄養価の高い商品を作る。	648	H26. 6. 10
2	新商品等 開発支援 事業	(有)釜屋、サンファーム・オオヤマ(有) 生産過程で発生する下位等級トマトを活用した、小麦粉を使わないトマトカレーのレトルト商品開発	生産過程で発生する下位等級トマトを有効活用し、かつ、小麦粉を使わない形でトマトカレーのレトルト商品を開発する。 平成 23 年度に本ファンド事業において既に開発済みのハヤシライスも含め、栃木市産トマトを活用したレトルト商品アイテムを増やすことで、観光地である栃木市の新たなお土産としても位置付けていく。	1,933	H26. 6. 10
3	新商品等 開発支援 事業	(有)黒田養蜂園、(株)外池酒造店 栃木県産の蜂蜜を使った「ミード（蜂蜜酒）」の試作開発	栃木県産の蜂蜜を使った「ミード」に合った蜂蜜の選定、「ミード」の加工方法・製造工程・製造技術などについて調査・研究し、顧客・市場のニーズを踏まえ試作を進める。自社で運営しているカフェにおいて試飲提供するほか、各種イベント等に出店して広く消費者の声を収集する。	2,494	H26. 6. 10
4	新商品等 開発支援 事業	(株)ユーユーワールド、岩崎農園 “ご飯にかけるイタリア「トマトガーリック」”の試作開発	栃木県産食材を使った“ご飯にかけるイタリア「トマトガーリック」”を企画・試作開発する。野菜の品種の選定、最適な栽培方法・加工方法、製造工程・製造技術などについて調査・研究を進め、弊社が運営している飲食店において試食提供するほか、各種イ	1,485	H26. 12. 19

			ベント等に出店して広く消費者の声を収集し、売れる商品としてマーケットに投入する。		
5	新商品等 開発支援 事業	(有)鈴木そば製粉所、小玉貴浩 食味・食感を損なわない、長期保存可能な「冷凍生そば」の商品化	食味・食感を損なわない、長期保存可能な「冷凍生そば」を試作開発する。そばの生産・収穫、そば粉の条件、そばの製造プロセス、冷凍保存技術、パッキング方法等を検討し、試作を行い、ユーザーに試食提供して評価を受け、商品化に向けたブラッシュアップを行う。	2,175	H26.12.19
6	新商品等 開発支援 事業	ON JAPAN(有)、農人たち 栃木県産野菜を使ったベジタブル・マジック・スパイスの試作開発	栃木県産野菜を使ったベジタブル・マジック・スパイス(万能調味料)の企画・試作開発する。飲食店での提供、お土産や通販商品としての販売などを通して、農業者、飲食業、食品製造業を始めとする県内食品関連産業の活性化を図る。	1,175	H26.12.19
7	新商品等 開発支援 事業	林農産加工(合)、須田富夫、農事組合法人ドリームファームおうめ 地場野菜を活用した新たなあげもち、かりんとう商品開発事業	①原料となるもちに野菜の乾燥粉を混ぜあわせて、乾燥し、スナック風のあげもち商品を開発する。 ②地場産のそば粉・米粉などを用いた原料に、野菜の乾燥粉を混ぜ合わせて、手作りかりんとう商品を開発する。 ③消費者から信頼されて売れる商品づくりを図るために、道の駅もてぎなどでの試食会、アンケート調査を実施してより良い商品づくりを目指す。	3,716	H26.12.19
8	新商品等 開発支援 事業	マルウチ食品産業(株)、両毛酪農農業協同組合、長谷川農場 小麦アレルギーでも美味しく安心して食べられる大麦かりんとうの	小麦アレルギーの人でも美味しく安心して食べられる「大麦100%かりんとう」を開発する。加えて、表示やデザインについて専門家に委託し、商品化を図るとともに、店頭やマーケットショーでアンケート実施などマーケテ	4,824	H26.12.19

		開発	イング調査を行い、商品性を高める。		
9	新商品等 開発支援 事業	(有)マルトモ食品、喜連川 漁業生産組合 栃木県産の鮎を使った 太巻きの開発	本事業では、マルトモ食品が太巻きの冷凍保存時の技術（解凍後の食味・食感の維持、及び賞味期限の確保）を改良するためにプロトン冷凍の技術に関する研究開発を行う。また、喜連川漁業協同組合では太巻きの芯になる「鮎の唐揚げ」「鮎のコンフィ」の風味の改善・改良について、油温・衣の改良、調理方法（熱風・水蒸気による低温加熱）の技術研究を行う。	5,000	H26. 12. 19
10	新商品等 開発支援 事業	(有)中條商店、阿部栄 「鹿沼煮込こんにゃく」 の開発、賞味期限に関する研究事業	「鹿沼煮込こんにゃく」の開発にあたり、鹿沼市内の農家と連携し、こんにゃく芋の栽培・製粉・配合の研究を行う。食の安心安全を第一にするために保存料を使用せず、真空包装器、ボイル槽の電気制御装置を使う事で、味付こんにゃくである「鹿沼煮込こんにゃく」の賞味期限を60日確保するための研究を行う。	3,207	H26. 12. 19
11	新商品等 開発支援 事業	(株)グルメコング、麦島農園、(株)スズキプレシオン、月星食品(株) 新里地域特産品・宮ゆずの加工品創作及び新里ネギの新加工品創作による新里地域ブランド化事業	①新里ねぎと宮ゆずを使った新たな加工品のレシピ完成 ②完成したレシピを工場生産可能にするための工夫 ③創出する商品は、海外輸出に耐える味の開発	5,000	H26. 12. 19
12	販路開拓 支援事業	(株)横倉本店、金田果樹園、荒牧りんご園、宇都宮ブルワリー(株) 栃木県産果物果汁を用いた栃木県産フルーツビール商品の販路開拓	平成25年度に本事業において開発した「とちぎフルーツプレミアム」の4商品「ふじ林檎」「にっこり梨」「とちおとめ苺」「桃(期間限定)」を全国規模の展示会にてPRし、栃木県産のフルーツビールの認知度を高め広めていく。	1,189	H26. 6. 10

13	販路開拓支援事業	(株)スクラムフーズ、山野井農園 栃木県産農産物を原料とした他にない「トマトジャム」の販売	平成24年度に本ファンド事業において開発した山野井農園でしか栽培していないトマト(ファーストジュニア)を使った「ジャム」を展示会にてPRし、販路を拡大する。	1,369	H26.6.10
14	販路開拓支援事業	栃木乳業(株)、まーるかめ農園 栃木県産夕顔の実を使用したヨーグルトの販路開拓	平成25年度に本ファンド事業において開発した「ユウガオ果実の食感を活かしたヨーグルト」を展示会にてPRし、販売促進する。	725	H26.6.10
15	技術高度化支援事業	(株)関東農産、(株)ジーワン 新製品ANS培地を利用したトマトM式低段密植栽培を用いた多収穫栽培	モデル圃場を整備してANS培地の改良、栽培システムの改良に取り組む。 モデル圃場に同時期に4つの栽培区画を設け、ポット内の水分値、肥料の濃度(EC値)、培地内温度を計測できるシステムを導入し、同時に4栽培区のデータを収集しデータベース化することで栽培マニュアルを確立し、栽培技術の向上に役立て最大収量を目指す。	2,415	H26.12.19
16	技術高度化支援事業	(株)ファーマーズ・フォレスト、国宝グリーン 大谷石採取場跡地内の未利用エネルギーを活用した大谷夏いちご栽培システム等確立事業	大谷石採取場跡地内に、未利用の状態が多量に賦存している冷水を、夏秋季いちごの栽培のための冷熱エネルギーとして活用し、大谷地域ならではの利益率の高い夏秋季いちご栽培事業の仕組みを構築する。 また、「地場産業である大谷石により生み出された再生可能エネルギー:跡地内の冷熱エネルギー」である大谷地域の独自資源ととちぎブランドである「なつおとめ」の効果的な組み合わせにより、「大谷夏いちご」の生産・流通による地域活性化モデルの構築を目指す。	9,203	H26.12.19

17	技術高度化支援事業	(合) 工農技術研究所、小林秀男、大越操 完熟大型イチゴの超高品質流通を可能にする収納容器及び生産流通技術の開発	大果系イチゴ品種(スカイベリー及びその他)を、完熟且つ高品質状態を維持し、無傷で輸送・流通することが可能な、超大型 80g 級イチゴ 1 個を収納する容器及び 40g 級イチゴ複数個を収納する容器を設計・試作する。そして、生産から消費に至る流通試験を実施し、その性能及び作業性を実証し、量産化の目途を付ける。	7,576	H26. 12. 19
			小 計	54,134	

2 県内の農商工連携支援機関への助成（間接助成事業）

番号	事業区分	連携体及び事業名称	事業概要	助成額 (千円)	交付 決定日
18	農商工連携支援機関助成事業	(公財) 栃木県農業振興公社 「①新農業ビジネス創出支援事業 ②販路拡大支援事業」	①新農業ビジネス創出支援事業 農商工連携の推進を図るため、地域資源等の活用についての啓蒙事業を実施し、農商工連携を牽引する若手起業家等を支援する。 ②販路開拓支援事業 「アグリフード EXPO 東京 2014」の出展ブースを確保し、農業者等が開発した新商品等を全国に PR する機会を提供する。	450	H26. 6. 10
19	農商工連携支援機関助成事業	(一社) 栃木県食品産業協会 「①「和食文化盛り上げ隊」推進事業 ②農産物原料安定供給体制整備事業」	①「和食文化盛り上げ隊」推進事業 ア) 発酵食品、発酵調味料の拡大に向けた取組、イ) 粉食文化の拡大に向けた取組、ウ) 食文化交流会の開催 ②農産物原料安定供給体制整備事業 ア) 地域ブランド農産物の加工利用拡大推進事業、イ) 強味のある産地、ウ) 商品づくりに向けた取組	1,524	H26. 6. 10
			小 計	1,974	
			合 計	56,108	